

プロクロラズ乳剤 スポルタック乳剤	取扱メーカー： 日産 原体メーカー： FMC
成分： プロクロラズ〔エルゴステロール生合成阻害剤 PRTR・2種〕…25.0% その他 PRTR 該当成分： キシレン〔PRTR・1種〕……………36%〈33～42%〉 エチルベンゼン〔PRTR・1種〕……………29%〈23～33%〉	性状： 淡黄色澄明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級Ⅲ

【品目特性】……………

- 他剤耐性のばか苗病に対して有効である。
- 比較的低温時でも安心した効果を示す。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 乳剤なので薬液の均一性が高く、消毒処理中の攪拌が不要である。
- 種もみへの薬剤の吸着（浸透）に優れているので消毒後は風乾せずに直ちに浸種できる。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 種子消毒は浸種前に行い、消毒後は水洗せずに浸種する。
- 浸漬処理の場合、もみと処理薬液の容量比は1：1以上とし、種もみはサラン網など粗目の袋を用い、薬剤処理時によくゆする。
- 処理を行った種もみを浸種する場合は、次の事項を守る。
 - 浴比は1：2とし、停滞水中で浸種する。
 - 河川、湖沼、ため池などでは浸種しない。
- 吹き付け処理の場合は種子消毒機を使用し、均一に付着させて乾燥する。
- 塗沫処理の場合は適当な容器内で種もみを攪拌しながら、薬液を滴下するなどして、種もみに均一に付着させる。

- 処理により軽度の初期生育遅延を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持する。

- 下記のような土を育苗土として用いる場合には、根上りを助長するおそれがあるのでは種時に十分灌水し、覆土を十分に積み重ねによる出芽を行う。

○粒子が細かく、しかも水分含量の低い土。

○根上りに関する注意事項が明記されているような人工培土。

なお、万一根上りが起きた場合には、直ちに灌水して覆土を落ち着かせ、再覆土を行う。

- 処理した種子等は食料や動物飼料として用いない。

- チューリップの切り花栽培での使用をさける。

- 適用作物（稲、チューリップ）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

- 適用外作物（野菜）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………



【適用と使用法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	プロクロラズを含む 農薬の総使用回数
稲	いもち病 ばか苗病 ごま葉枯病	1000倍	浸種前	1回	24時間種子浸漬	1回
		100倍			10分間種子浸漬	
		40倍			吹き付け処理（種子消毒機使用）又は塗沫処理	
		乾燥種もみ 1 kg 当り 希釈液 30 ml				
小麦	眼紋病	600倍	30日前まで	2回以内	散布	2回以内
らっきょう	乾腐病	300倍	植付前	1回	30分間種球浸漬	1回
チューリップ	球根腐敗病	200倍			30分間球根浸漬	
		100倍			15分間球根浸漬	
		40倍			球根塗沫	
		球根 1 kg 当り 希釈液 30 ml				
アイリス	青かび病	400倍		30分間球根浸漬	—	